

第3次計画(素案)の修正箇所一覧

NO.	ページ	修正前(素案300621)	ページ	修正後(素案301017)
1	2ページ 1-3 18行目	また、平成29年と平成30年の学習指導要領の改訂で、	2ページ 1-3 18行目	また、平成29年と平成30年の学習指導要領の改訂でも、言語活動の充実が重要事項とされ、
2	3ページ	第2章 第2次計画の成果と課題	3ページ (目次も変更)	第2章 第2次計画期間中の子どもの読書活動の状況
3	3ページ 2-1(1)ア	<p>ア. 未就園の乳幼児に(健康づくり推進室・こども未来室・生涯学習課・市立図書館)</p> <p>健康づくり推進室にて実施している4か月児健康診査時において、赤ちゃんとのスキンシップに絵本を活用してもらおうと絵本の無料配付を行うブックスタート事業は、平成14年度からこれまで約26,000人の赤ちゃんに絵本を手渡ししてきました。健診を受診できなかった赤ちゃんにも、保健師による家庭訪問時に手渡すなど、配付率99.0%(平成29年度)となっており、多数の家庭で絵本に触れる機会を提供してきました。</p> <p>また、フォローアップとして、1歳6か月児及び3歳6か月児健康診査時において、読み聞かせを行うことで、絵本の楽しさを親子で体験し、家庭における読書の大切さを伝えてきました。</p> <p>こども未来室では、育児教室や園庭開放、エンゼルハウス等の親子教室時には、読み聞かせを行ったり、絵本の貸出を行い、また、生涯学習課では、出前講座として「読み聞かせ講座」等を実施し、親子が絵本に触れる機会をつくり、保護者にも「絵本を読んでみよう」という気持ちが芽生えるなど、着実に読み聞かせの輪を広げてきています。</p>	3ページ 2-1(1)ア	<p>ア. 未就園の乳幼児について(健康づくり推進室・こども未来室・生涯学習課・市立図書館)</p> <p>健康づくり推進室では4か月児健康診査時に、ブックスタート事業として赤ちゃんとのスキンシップに絵本を活用してもらおうと絵本の無料配付を行い、平成14年度からこれまで15年間で市内で生まれた約26,000人の赤ちゃんに絵本を手渡ししてきました。健診を受診できなかった赤ちゃんには、保健師による家庭訪問時に手渡すなど、配付率99.0%(平成29年度)となっており、多数の家庭で絵本に触れる機会を提供してきました。</p> <p>また、フォローアップとして、1歳6か月児及び3歳6か月児健康診査時において、読み聞かせを行い、絵本の楽しさを親子で体験し、家庭における読書の大切さを伝えてきました。</p> <p>こども未来室では、育児教室や園庭開放、エンゼルハウス等の親子教室時に、読み聞かせや絵本の貸出を行い、生涯学習課では、出前講座として「読み聞かせ講座」等を実施し、親子が絵本に触れる機会をつくり、保護者にも「絵本を読んでみよう」という気持ちが芽生えるなど、着実に読み聞かせの輪を広げています。</p>
4	3ページ 2-1(1)イ	<p>イ. 保育園・幼稚園に通う子どもに (こども未来室)</p> <p>各園では500冊以上の絵本を揃え、日々の保育の中で、保育等はもちろんのこと、保護者やボランティアによる読み聞かせを行い、日常的に絵本に触れる機会ができたことで、子どもたちはとても絵本に興味を示し、長い時間でも集中して絵本を見ることができるようになりました。</p> <p>また、保護者が半日保育などで自分の子ども以外にも読み聞かせをすることにより、保護者自身の絵本への関心が高まり、楽しんで絵本を選ぶ姿が見られるようになりました。</p> <p>さらに、職場体験で地域の中学生が読み聞かせをしてくれることで親近感が湧き、絵本に興味を持ったり、保育実習生と園児が絵本を通して親しむことができるよう読み聞かせの機会を提供しています。</p> <p>このように園では絵本に触れる機会を増やせるよう努力していますが、自宅での読み聞かせとなると、仕事をしている家庭では、ゆっくり過ごす時間がなく、読み聞かせは優先順位が低くなってしまいがちです。</p>	3ページ 2-1(1)イ	<p>イ. 保育園・幼稚園に通う子どもについて (こども未来室)</p> <p>各園では500冊以上の絵本を揃え、日々の保育の中で、保育士・幼稚園教諭等はもちろん、保護者やボランティアによる読み聞かせを行い、日常的に絵本に触れる機会ができたことで、子どもたちは大変絵本に興味を示し、長い時間でも集中して絵本を見ることができるようになりました。</p> <p>また、保護者が半日保育などで自分の子ども以外にも読み聞かせをすることにより、保護者の絵本への関心が高まり、楽しんで絵本を選ぶ姿が見られるようになりました。</p> <p>さらに、職場体験で地域の中学生が読み聞かせをしてくれることで、絵本に興味を持ったり、保育実習生と園児が絵本を通して親しむことができるよう読み聞かせの機会を提供するなど、園では絵本に触れる機会を増やせるよう努力しています。しかし、自宅での読み聞かせとなると、仕事をしている家庭では、読み聞かせは優先順位が低くなりがちです。</p>

NO.	ページ	修正前(素案300621)	ページ	修正後(素案301017)
5	4ページ ウ 読書が好きと答えた割合	<p>ウ. 小中学校に通う子どもに（指導室・市立図書館） 以下に示す表は、市内の小・中学生を対象に行った子どもの読書に関するアンケートの結果です。 第1次計画策定前の平成16年度、第2次計画策定前の平成22年度、また第3次計画策定前の平成29年度にそれぞれアンケートを実施いたしました。</p> <p>読書が好きと答えた割合</p> <p>本計画の目的であります「本が大好き 和泉っ子」を増やすための指標ともいえる「読書が好きと答えた割合」をグラフで表しています。 平成29年度では、平成16年度と比較しますと増加していますが、平成22年度と比較しますと横ばいであるといえます。小学4年生までは、80%以上の子どもが読書が好きと感じていることに視点を置き、今後は乳幼児から小学校低学年までの間に、それらの子どもが今以上に読書との関わりを持ちながら、本を読むことを「好き」と思ってもらうような施策の展開を講じていかなければなりません。</p>	4ページ ウ 読書が好きと答えた割合	<p>ウ. 小中学校に通う子どもについて（指導室・市立図書館） 以下に示す表は、市内の小・中学生を対象に行った子どもの読書に関するアンケートの結果です。 第1次計画策定前の平成16年度、第2次計画策定前の平成22年度、また第3次計画策定前の平成29年度にそれぞれアンケートを実施しました。</p> <p>(表1)読書が好きと答えた割合</p> <p>(表1)では、本計画の目的であります「本が大好き 和泉っ子」を増やすための指標である「読書が好きと答えた割合」を示しています。 平成29年度では、平成16年度との比較では増加していますが、平成22年度と比較すると大きな変化がみられません。学年別にみると、小学1年生から小学4年生までは、80%以上の子どもが読書が好きと感じていますが、以後学年が上がるにつれ読書が好きな割合は下がっています。読書が好きな割合が低い年代に対して、本を読むことを「好き」と思ってもらうような施策の展開を講じていかなければなりません。</p>
6	4ページ 家で本を読まない と答えた割合	<p>家で本を読まないと答えた割合</p> <p>次に、「家で本を読まないと答えた割合」のアンケート結果です。 家で本を読まない子どもは、平成22年度では、平成16年度と比較して減ったものの、平成29年度では再度増加しています。また、家で本を読まない子どもの学年に注視しますと、先ほどのアンケート結果であります「読書が好きと答えた割合」が、平成29年度では小学6年生から80%を切り、学年が上がることに下降していることと連動しているかのように、家で本を読まない子どもの割合は、小学6年生から急激に上昇しています。 これらのことの原因としてはさまざまな要因が考えられますが、主に小学校高学年からは学業や習い事等が忙しくなり、子どもに読書をする時間がなくなってきたことや、インターネットやスマートフォンの普及により生活習慣が変わり、本に触れる機会が少なくなってきたこと等が考えられます。</p>	4ページ 家で本を読まない と答えた割合	<p>(表2)家で本を読まないと答えた割合</p> <p>(表2)は、「家で本を読まないと答えた割合」を示しています。 家で本を読まない子どもは、平成22年度では、平成16年度と比較して減ったものの、平成29年度では再度増加しています。また、家で本を読まない子どもの割合は、小学6年生から急激に増加しています。 これらの原因としては、主に小学校高学年からは学業や習い事等が忙しくなったり、インターネットやスマートフォンの普及により生活習慣が変わること、読書をする時間がなくなってきました。</p>
7	5ページ 1日の読書の 時間はどれくら いですか	<p>1日の読書の時間はどれくらいですか</p> <p>次に、「1日の読書の時間はどれくらいですか」のアンケート結果です。 不読者(1週間で一度も本を読まない子ども)の割合は、学年が上がるにつれ30分までの読書時間の割合の減少と連動して増加しておりますが、長時間読書をする子どもはどの学年においても同じ一定の数値という結果になりました。 現代社会において、不読者を減らすことは難しいかもしれませんが、これ以上に増やさない取組をすることがとても重要で、それには子どもにとって、幼い頃からの読書習慣を身につけることが大切であるといえます。</p>	5ページ 1日の読書の 時間はどれくら いですか	<p>(表3)1日の読書の時間はどれくらいですか</p> <p>(表3)は、「1日の読書の時間はどれくらいですか」のアンケート結果です。 不読者(1週間で一度も本を読まない子ども)の割合は、学年が上がるにつれ増加していますが、長時間読書をする子どもはどの学年においても一定の数値という結果になりました。 不読者を減らすことは難しいかもしれませんが、これ以上に増やさない取組をすることが重要です。それには子どもたちが、幼い頃から読書習慣を身につけることが大切であるといえます。</p>

NO.	ページ	修正前(素案300621)	ページ	修正後(素案301017)
8	5ページ 学校図書館利用	<p>学校図書館利用</p> <p>次に、「学校図書館利用」についてアンケート結果を見ますと、平成29年度では、特に中学生の利用が平成22年度から比較して10%以上増加しており、全学年80%以上になっています。</p> <p>小・中学校では、「朝読」を実施している学校は、市内30校園のうち、29校園が取り組むなど、子どもが本に触れる機会づくりに努めてきました。そのことをきっかけとして、学校図書館に行き、読みたい本を探して借りる子どもが増えているといえます。</p> <p>その結果、学校図書館での一人当たりの貸出冊数は伸びてきています。</p> <p>学校図書館図書標準は、児童・生徒数の多い学校では学校図書館の広さや書架等が不足していることから達成していない学校が数校ありますが、学校図書館の蔵書は、年々増加しており、市全体では図書標準は達成しています。</p>	5ページ 学校図書館利用	<p>(表4)学校図書館利用</p> <p>(表4)「学校図書館利用」について、平成29年度では、中学生の利用が全学年80%以上になっています。</p> <p>市内では、「朝読」を実施している小・中学校及び義務教育学校(以下、「小・中学校」という。))は、市内30校園のうち、29校園が取り組むなど、子どもが本に触れる機会づくりに努めてきました。そのことをきっかけとして、学校図書館に行き、読みたい本を借りる子どもが増えているといえます。</p> <p>その結果、学校図書館での一人当たりの貸出冊数は伸びています。</p> <p>また、学校図書館図書標準は、児童・生徒数の多い学校では学校図書館の広さや書架等が不足していることから達成していない学校が数校ありますが、学校図書館の蔵書は、年々増加しており、市全体の平均では図書標準は達成しています。</p>
9	6ページ エ	<p>エ. 高校生世代に (高等学校・市立図書館)</p> <p>和泉図書館が駅前に移転以降、市立図書館ではティーンズコーナーを設け蔵書を増やすなど勢力的に力を入れて取り組んできました。一人当たりの蔵書数も増え、充実を図ってきたところです。</p> <p>また、ティーンズコーナーのPOPや展示などで、中高生が本を手に取りやすいよう工夫し、その世代の関心の高い情報を提供するように努めています。</p> <p>しかしながら、高校生世代の市立図書館利用については年々減少傾向にあります。</p>	6ページ エ	<p>エ. 高校生世代について (高等学校・市立図書館)</p> <p>和泉図書館は駅前に移転後、ティーンズコーナーを設け蔵書を増やすなど積極的に取り組んできました。中高生一人当たりのティーンズ資料蔵書数も増え、充実を図ってきたところです。</p> <p>また、ティーンズコーナーのPOPや展示などで、中高生が本を手に取りやすいよう工夫し、その世代の関心の高い情報を提供するように努めています。が、高校生世代の市立図書館利用については年々減少傾向にあります。</p>
10	6ページ オ	<p>オ. 図書館の利用が困難な子どもに (こども未来室・指導室・市立図書館)</p> <p>第2次計画を実施していく中で、市立図書館と支援学校との交流ができるようになり、支援学校の児童・生徒が図書館員による読み聞かせなどを体験し、より身近に利用してもらえるようになりました。</p> <p>また、市立図書館ではボランティアにより、さわる絵本や点字図書、録音図書の製作を行ってきました。</p> <p>さらには、寄贈による外国語の絵本等の受入も行い、図書館の利用が困難な子どもに対する資料の充実を図ってきましたが、それらを利用する子どもは少なく、また、読書のあり方の研究や図書館の利用が困難な子どもに対する方策までには至っていません。</p>	6ページ オ	<p>オ. 図書館の利用が困難な子どもについて (こども未来室・指導室・市立図書館)</p> <p>第2次計画により、市立図書館と支援学校との交流が実施でき、支援学校の児童・生徒が図書館員による読み聞かせなどを体験し、より身近に利用されるようになりました。</p> <p>また、市立図書館ではボランティアにより、さわる絵本や点字図書、録音図書が製作されています。</p> <p>さらには、外国語の絵本等が寄贈され、図書館の利用が困難な子どもに対する資料の充実を図ってきました。しかし、まだ子どもの利用は少なく、また、図書館の利用が困難な子どもに対する方策までには至っていません。</p>
11	6ページ カ	<p>カ. 市立図書館で</p> <p>市立図書館では、第2次計画策定後、平成27年7月に北部リージョンセンター図書室が開室し、市内4圏域全てに図書館・図書室を設置してきました。</p>	6ページ カ	<p>カ. 市立図書館で</p> <p>市立図書館では、第2次計画策定後、平成27年7月に北部リージョンセンター図書室が開室し、市内4圏域全てに図書館・図書室を設置されました。</p>
12	7ページ 図書館児童図書の蔵書数推移 図書館ティーンズ資料蔵書数推移	<p>以下に示す表は、第2次計画策定後5年間の市立図書館の蔵書数推移をグラフに表したものです。蔵書数は、年々増加しており、児童図書が充実してきました。</p> <p>図書館児童図書の蔵書数推移</p> <p>図書館ティーンズ資料蔵書数推移</p>	7ページ 図書館児童図書の蔵書数推移 図書館ティーンズ資料蔵書数推移	<p>(表5)(表6)は、第2次計画策定後5年間の市立図書館の蔵書数推移を表したものです。蔵書数は、年々増加しており、中でも児童図書の充実を図りました。</p> <p>(表5)図書館児童図書の蔵書数推移</p> <p>(表6)図書館ティーンズ資料蔵書数推移</p>

NO.	ページ	修正前(素案300621)	ページ	修正後(素案301017)
13	8ページ 図書館年代別子ども一人当たりの貸出冊数 図書館年代別子どもの実利用率	<p>市立図書館では、ボランティアの協力のもと、子どもが興味を示すような多種多様な事業に取り組み、行事の参加者数も増加することができました。しかし、来館してもらえらるきっかけづくりをし、行事への参加が図書の貸出しに結び付けることができるよう工夫してきたものの、<u>図書を借りる子どもの人数は年々減少傾向にあります。</u></p> <p>以下に示す表は、第2次計画策定後5年間の市立図書館利用をグラフに表したものです。</p> <p>図書館年代別子ども一人当たりの貸出冊数 図書館年代別子どもの実利用率</p> <p>これらのことから、<u>小学生の利用は比較的多いものの、小学生未満や中高生の利用は少なくなっています。</u> また、<u>子どもが一人で来館するには交通面や安全面の関係から、なかなか子どもだけでは市立図書館利用が難しい問題もあります。</u></p>	8ページ 図書館年代別子ども一人当たりの貸出冊数 図書館年代別子どもの実利用率	<p>市立図書館では、ボランティア団体の協力のもと、子どもが興味を示すように多様な行事に取り組み、参加者も増加することができましたが、<u>行事への参加者が図書の貸出しに繋がらず、図書を借りる子どもの人数は年々減少傾向にあります。</u></p> <p>(表7)(表8)は、第2次計画策定後5年間の市立図書館利用を表したものです。</p> <p>(表7)図書館年代別子ども一人当たりの貸出冊数 (表8)図書館年代別子どもの実利用率</p> <p>小学生の利用率は高いものの、小学生未満や中高生の利用率は低くなっています。 交通面や安全面の関係から、子どもだけでは市立図書館利用が難しい問題もあります。</p>
14	9ページ ア	<p>ア. 家庭で 子どもが本に親しむ一番のきっかけになる場所は、なんといっても家庭です。子どもの読書習慣は、小学生まで家庭環境に影響があると言っても過言ではありません。「子ども子育てアンケート(平成27年度実施)」によると、子どもが読み聞かせをしてもらうことが好きであっても、保護者が本を読むのが好きでない割合が多く、<u>保護者が本を好きになることが子どもを本好きにする一番の近道です。</u></p> <p>市立図書館では、ブックスタート事業時に年齢に応じた絵本のブックリストを配付したり、親子を対象にした講座・講演会・ワークショップなどの事業では、定員を超えるほどの申し込みがあるなど、以前より絵本に興味を示す保護者が増加していることがうかがえます。</p> <p>「子ども子育てアンケート」の結果より(抜粋)</p>	9ページ ア	<p>ア. 家庭で 子どもが本に親しむ一番のきっかけになる場所は、なんといっても家庭です。子どもの読書習慣には、小学生まで家庭環境に影響があると言っても過言ではありません。</p> <p>(表9)によると、子どもが読み聞かせをしてもらうことが好きであっても、保護者が本を読むのが好きでない割合が高く、<u>子どもを本好きにするには、保護者が本を好きになることが一番の近道です。</u></p> <p>市立図書館では、ブックスタート事業時から年齢に応じた絵本のブックリストを配付したり、親子を対象にした講座・講演会・ワークショップなどの事業では、定員を超えるほどの申し込みがあるなど、以前より絵本に興味を示す保護者が増加していることがうかがえます。</p> <p>(表9)「和泉市子ども子育てアンケート(平成27年度実施)」の結果より(抜粋)</p>
15	9ページ イ	<p>イ. 地域で 現在、市内の全図書館では、おはなし会等を実施していただいているボランティアが活動しており、市立図書館のみならず、保育園や幼稚園、小学校等へ出向き読み聞かせ等も行っています。</p> <p>これらのボランティアが今後、地域の核となって地域の「読み聞かせの輪」を<u>広げてもらえるよう、市立図書館ではボランティアのステップアップ講座を実施しています。</u></p>	9ページ イ	<p>イ. 地域で 現在、市内の全図書館では、ボランティア団体によりおはなし会等を実施されており、<u>その活動は市立図書館のみならず、保育園や幼稚園、小学校等へ出向き読み聞かせ等に広がっています。</u></p> <p>これらのボランティアが今後、地域の核となって地域の「読み聞かせの輪」が<u>拡大するよう、市立図書館ではボランティアのステップアップ講座を実施しています。</u></p>
16	9ページ ウ	<p>ウ. 保育園・幼稚園で 保育士等は、実技講座の研修や保育研究会における絵本作家の講演を聴講することにより、<u>絵本の楽しさを職員が感じ、子どもたちが楽しいと感じるにはどのような絵本を届ければよいかを考えながら、日々、読み聞かせを実施しています。</u></p>	9ページ ウ	<p>ウ. 保育園・幼稚園で 保育士等は、実技講座の研修や、<u>保育研究会における絵本作家の講演に参加することにより、職員が絵本を読むことの楽しさを感じ、その楽しさを子どもたちへ届けるために、日々、読み聞かせを実施しています。</u></p>

NO.	ページ	修正前(素案300621)	ページ	修正後(素案301017)
17	10ページ エ	<p>エ. 学校で 和泉市内の小学校・中学校及び義務教育学校では、全ての学校に司書教諭を配置し、年2回の研修では、相互の学校図書館の取組などの報告や発表を行うなどして、学校図書館の方向性等について協議する機会を設けています。</p> <p>また、市内全学校に学校図書館支援司書を配置し、いつでも人がいる学校図書館が実現できたことにより子どもの読書相談に直接応じることができるなど、学校図書館支援司書は子どもと本を結びつける重要な役割を果たしてきました。</p> <p>平成26年に学校図書館法の一部改正が行われ、専ら学校図書館の職務に従事する職員として、学校司書の法制化がなされるとともに、学校司書への研修等の実施について規定されました。</p> <p>今後、国の動向を見極めながら、望ましい学校図書館のあり方とともに、学校司書のあり方について検討していく必要があります。</p>	10ページ エ	<p>エ. 学校で 市内全小・中学校に司書教諭を配置し、年2回の研修では、相互の学校図書館の取組などの報告や発表を行うなどして、学校図書館の方向性等について協議する機会を設けています。</p> <p>また、市内全小・中学校に学校図書館支援司書を配置し、司書教諭と連携し、学校図書館の取組の充実を図ることにより、子どもの読書相談に丁寧に応じることができるなど、学校図書館支援司書は子どもと本を結びつける重要な役割を果たしてきました。</p> <p>平成26年に学校図書館法の一部改正が行われ、専ら学校図書館の職務に従事する職員として、学校司書が法制化され、学校司書への研修等の実施について規定されました。</p> <p>今後、国の動向を見極めながら、学校教育に期待される学校図書館のあり方の推進とともに、学校司書のあり方についても検討していく必要があります。</p>
18	10ページ オ	<p>オ. 市立図書館で 市立図書館では、これまでの市の一般事務職が担ってきた部分について、指定管理者制度を導入することにより司書の配置が可能となり、より専門性の高いスタッフを配置することが可能となりました。また、児童を担当する職員を各市立図書館に配置し、資料展示や壁飾り、子どもたちが読書に親しむことができるような事業を展開してきました。</p>	10ページ オ	<p>オ. 市立図書館で 市立図書館では、指定管理者制度を導入することにより、司書が配置され、より専門性の高いスタッフを配置することができました。また、児童に対するサービスを担当する職員を各市立図書館に配置し、資料展示や壁飾り、子どもたちが読書に親しむことができるような事業を展開してきました。</p>
19	10ページ 2-2 連携の強化	<p>読み聞かせボランティアは、子育てサークル、保育園・幼稚園や学校から依頼を受け、定期的に出向いて読み聞かせを実施しています。長年続けて実施してきたことにより、信頼関係を築いてきました。ボランティア同士についても、年1回、市立図書館で交流を含めた連絡会議を実施しています。</p> <p>中学校のなかには、保育園や幼稚園での読み聞かせを実施するため、読み聞かせボランティアや市立図書館スタッフの指導を受け、中学生が園児たちにお話を届けているところもあります。</p> <p>市立図書館では、学校図書館から依頼を受けた図書を配送しているほか、図書館見学や職場体験の受入、調べ学習出前講座など、学校への市立図書館の利用促進を図ってきました。</p> <p>さらには、市立図書館が発行した図書館だよりを学校園等に配付するほか、市内の高等学校や支援学校にも送付し、市立図書館の情報を提供しています。</p> <p>和泉市子どもの読書活動推進協議会においては、子どもの読書活動に係る関係団体や学校園、行政、市立図書館が一堂に会し、取組事業の紹介や意見交換を行っています。</p>	10ページ 2-2 連携の強化	<p>市内では、読み聞かせボランティアが、子育てサークル、保育園・幼稚園や学校から依頼を受け、定期的に出向いて読み聞かせを実施しています。長年の実施により、信頼関係を築いてきました。市では、ボランティア団体同士についても、年1回、市立図書館で交流を含めた連絡会議を実施しています。</p> <p>中学校のなかには、読み聞かせボランティアや市立図書館スタッフの指導を受け、中学生が園児たちにお話を届けているところもあります。</p> <p>市立図書館では、学校図書館から依頼を受けた図書を配送しているほか、図書館見学や職場体験の受入、調べ学習出前講座など、学校への市立図書館の利用促進を図ってきました。</p> <p>さらには、市立図書館が発行した図書館だよりを学校園等に配付するほか、市内の高等学校や支援学校にも送付し、情報を提供しています。</p> <p>和泉市子どもの読書活動推進協議会においては、子どもの読書活動に係る関係団体や学校園、行政、市立図書館等の代表が集まり、取組事業の紹介や意見交換を行っています。</p>

NO.	ページ	修正前(素案300621)	ページ	修正後(素案301017)
20	11ページ 2-4 重点目標	<p>北部リージョンセンター図書室の開室に伴い、市内の2館3室全ての図書館で読み聞かせボランティアが活動され、地域ごとに読み聞かせの輪が広がっています。現在は、ボランティアのステップアップ講座を実施し、地域の核となって地域に根付いた読書活動を広げてもらえるような人材の育成に努めています。</p> <p>しかしながら、ボランティアに興味があるものの、高齢化や家庭の事情等によりボランティアを辞めざるを得ない方もおり、現時点では、地域ごとの連絡会までは開催できていません。</p> <p>まずは、継続してボランティア活動ができる環境づくりや新たな人材の確保を行う必要があります。</p>	11ページ 2-4 重点目標	<p>北部リージョンセンター図書室の開室に伴い、市内の2館3室全ての図書館で読み聞かせボランティアが活動され、地域ごとに読み聞かせの輪が広がっています。現在は、<u>読み聞かせボランティアのステップアップ講座を実施し、地域の核となって地域に根付いた読書活動を広げてもらえるような人材の育成に努めています。</u></p> <p>しかしながら、ボランティアに興味があるものの、高齢化や家庭の事情等によりボランティアを辞めざるを得ない方もおり、現時点では、地域ごとの連絡会までは開催できていません。</p> <p>継続してボランティア活動ができる環境づくりや新たな人材の確保を行う必要があります。</p>
21	12ページ 表NO. 2	H26の数値⇒ <u>15</u>	12ページ 表NO. 2	H26の数値⇒ <u>11</u>
22			【追加】 13ページ 2-6 (目次も変更)	<p><u>2-6 第2次計画の成果と課題</u></p> <p><u>第2次計画計画期間中の子どもの読書活動の状況において、取組の成果と課題をまとめます。</u></p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <u>・ブックスタート時における絵本の配付率が99.0%(平成29年度)となり、赤ちゃんが絵本に触れる機会を提供できた。</u> <u>・保育園・幼稚園児の家庭向けへの啓発紙等の配付回数が目標を上回った。</u> <u>・子ども一人当たりの小学校図書館貸出点数が目標を上回った。</u> <u>・子ども一人当たりの市立図書館蔵書数が目標を上回った。</u> <u>・中学生の学校図書館利用の割合が80%以上となった。</u> <u>・市立図書館では、市内4圏域全てに図書館・図書室を設置された。</u> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <u>・小学校低学年までは「読書が好き」や「家で読書をしている」の割合が高いが、小学校高学年からは、学年が上がるにつれ、その割合が低くなっている。</u> <u>・保護者が本を読むのが好きでない割合が高い。</u> <u>・重点目標であった、地域に根付いた読書活動推進に向けた人材の育成ができていないため、新たなボランティア人材の育成をする必要がある。</u>
23	13ページ 3-1 計画の基本理念	<p>これまでの経過から、第3次計画については、次の点に重点をおき、施策の推進を検討していきます。</p> <p>☆小学生までの子どもに、大人と一緒に、読書の楽しさや、読書によって得られる効果(思考力・想像力・表現力)を体験させる。</p>	14ページ 3-1 計画の基本理念	<p><u>第2次計画の成果と課題を踏まえ、第3次計画については、次の点に重点をおき、施策の推進を検討していきます。</u></p> <p>☆小学生までの子どもに、大人と一緒に、読書の楽しさや、読書によって得られる効果(<u>読解力・思考力・想像力・表現力</u>)を体験させる。</p>

NO.	ページ	修正前(素案300621)	ページ	修正後(素案301017)
24	13ページ 3-2 計画の目標	<p>第3次計画においては、第2次計画の取組の成果と課題を踏まえながら、上記の基本理念を柱として、家庭・地域・学校・図書館等が横のつながりを意識して連携し、子どもの成長に合わせて必要な読書の機会が提供できるよう、次の項目を目標といたします。</p> <p>「子どもが読書に親しむ環境づくり」については、子どもの生活の場ごとに体系づけて取り組みます。</p> <p>(1)子どもが読書に親しむ環境づくり (2)連携の強化 (3)啓発活動の強化 (4)数値目標</p> <p>なお、第2次計画において重点目標としていた「地域に根付いた読書活動」は、第2次計画期間中取り組めておらず、まずは、地域の中心的人材を育成することを目標とすることから、(1)子どもが読書に親しむ環境づくり内の「地域における読書活動の推進」に位置づけることとします。</p>	14ページ 3-2 計画の目標	<p>上記の基本理念を柱として、家庭・地域・学校・図書館等が横のつながりを意識して連携し、子どもの成長に合わせて必要な読書の機会が提供できるよう、次の項目を目標といたします。</p> <p>(1)家庭における読書活動の推進 (2)地域における読書活動の推進 (3)保育園・幼稚園等における読書活動の推進 (4)学校における読書活動の推進 (5)市立図書館における読書活動の推進 (6)子どもの読書活動を推進するための関係機関・団体との連携・協力 (7)子どもの読書活動に関する普及・啓発 (8)数値目標</p>
25	14ページ 3-4 計画の対象	この計画は、市内に住む0歳から18歳までの子どもを対象とします。	15ページ 3-4 計画の対象	この計画は、0歳から18歳までの子どもを対象とします。
26	15ページ 3-7	<p>3-7 施策の体系 第3次和泉市子どもの読書活動推進計画</p> <p>1. 子どもが読書に親しむ環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ●家庭における読書活動の推進 ●地域における読書活動の推進 ●保育園・幼稚園等における読書活動の推進 ●学校における読書活動の推進 ●図書館における読書活動の推進 <p>2. 連携の強化 3. 啓発活動の強化 4. 数値目標</p>	【削除】 (目次も変更)	【削除】
27	16ページ 第4章 4-1 (1)	<p>第4章 子どもの読書活動推進のための方策 4-1 子どもが読書に親しむ環境づくり (1)家庭における読書活動の推進</p>	16ページ 第4章 4-1 (目次も変更)	第4章 子どもの読書活動推進のための取組 4-1 家庭における読書活動の推進
28	16ページ 4-1 (2)	(2)地域における読書活動の推進	16ページ 4-2 (目次も変更)	4-2 地域における読書活動の推進
29	16ページ 4-1 (3)	(3)保育園・幼稚園等における読書活動の推進	16ページ 4-3 (目次も変更)	4-3 保育園・幼稚園等における読書活動の推進

NO.	ページ	修正前(素案300621)	ページ	修正後(素案301017)
30	17ページ 4-1 (4)	<p>(4)学校における読書活動の推進 これまで学校図書館では、蔵書の充実や学校図書館支援司書の配置などを行ってきたことにより、随分利用が増えてきました。これらの環境は継続して充実させていくとともに、今後は、児童・生徒が自ら本を読みたいと思える環境づくりに努めていかなければなりません。</p> <p>「地域における読書活動推進のための体制整備に関する調査研究」(平成27年度文部科学省委託調査)において、「友達がオススメの本を教えてくれたり貸したりしてくれたこと」や「学校で行われている読書に関する取組(一斉読書の時間など)」に影響を受けて本を読んでいるとの結果から、友達や他の人がオススメする本の展示やブックリストなど、児童・生徒が「読んでみたい!」と思える仕組みをつくります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ 学校図書館の蔵書の充実 ☞ 学校図書館のシステム化 ☞ 司書教諭や学校図書館支援司書に向けた子どもの読書に関する研修の実施 ☞ 学校図書館司書の配置に向けた検討 	17ページ 4-4 (目次も変更)	<p>4-4 学校における読書活動の推進 これまで学校図書館では、蔵書の充実や学校図書館支援司書の配置などを行ってきたことにより、随分利用が増えてきました。これらの環境は継続して充実させていくとともに、今後は、児童・生徒が自ら本を読みたいと思える環境づくりに努めていかなければなりません。</p> <p>「地域における読書活動推進のための体制整備に関する調査研究」(平成27年度文部科学省委託調査)において、「友達がオススメの本を教えてくれたり貸したりしてくれたこと」や「学校で行われている読書に関する取組(一斉読書の時間など)」に影響を受けて本を読んでいるとの結果から、友達や他の人がオススメする本の展示やブックリストなど、児童・生徒が「読んでみたい!」と思える仕組みをつくります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ 学校図書館の蔵書の充実 ☞ 学校図書館のシステム化 ☞ 学校図書館関係職員に向けた子どもの読書に関する研修の実施 ☞ 学校司書の配置に向けた検討
31	17ページ 4-1 (5)	<p>(5)市立図書館における読書活動の推進 年々、市立図書館の利用者は減少傾向にあるなかで、平成29年8月に策定された「和泉躍進プラン(案)」(改訂版)に掲げている『読書環境充実事業』の施策を推進するにあたり、利用者ニーズを把握し、どうすれば市立図書館に来館してもらえるかを常に意識し、何度も行ってみたいと思ってもらえるような取組を実施していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ 市立図書館の蔵書の充実 ☞ (仮称)「通帳型読書記録帳」の発行 ☞ 子どもや親子を対象とした作家の講座・ワークショップ・講演会等の開催 ☞ 司書による子どもの読書に関する研修への参加 ☞ 年代別ブックリストの作成・配付 ☞ 学校図書館等への図書の配送 ☞ 図書館だより等での情報発信 ☞ 図書館を使った調べる学習コンクールの継続実施 ☞ 居心地のよい市立図書館づくり ☞ 市内の支援学校と連携した市立図書館利用が困難な子どもへの読書支援 ☞ 市内の高等学校と連携した高校生世代への読書支援 	17ページ 4-5 (目次も変更)	<p>4-5 市立図書館における読書活動の推進 年々、市立図書館の利用者は減少傾向にあるなかで、平成29年8月に策定された「和泉躍進プラン(案)」(改訂版)に掲げている『読書環境充実事業』の施策を推進するにあたり、利用者ニーズを把握し、どうすれば市立図書館に来館してもらえるかを常に意識し、何度も行ってみたいと思ってもらえるような取組を実施していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ 市立図書館の蔵書の充実 ☞ (仮称)「通帳型読書記録帳」の発行 ☞ 子どもや親子を対象とした作家の講座・ワークショップ・講演会等の開催 ☞ 司書による子どもの読書に関する研修への参加 ☞ 年代別ブックリストの作成・配付 ☞ 学校図書館等への図書の配送 ☞ 図書館だより等での情報発信 ☞ 図書館を使った調べる学習コンクールの継続実施 ☞ 居心地のよい市立図書館づくり ☞ 市内の支援学校と連携した市立図書館利用が困難な子どもへの読書支援 ☞ 市内の高等学校と連携した高校生世代への読書支援 ☞ さわる絵本・点字図書・録音図書の充実

NO.	ページ	修正前(素案300621)	ページ	修正後(素案301017)
32	18ページ 4-2	<p><u>4-2 連携の強化</u> これまでの連携は、1対1に留まることが多かったため、その一歩先を含めた読書環境をつなげていく必要があります。 そのため、市の図書館担当窓口が中心となって、横のつながりを意識した体制を整えていきます。 また、子どもの読書活動推進に大きな役割を果たす学校図書館と市立図書館が連携を密にし、子どもが本好きになるための協力体制を整えていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ さらなる「和泉市子どもの読書活動推進協議会」における連携体制の強化 ☞ 子どもの読書活動に係るボランティア同士の連絡会議の開催 ☞ 学校図書館と市立図書館との協力体制づくり 	18ページ 4-6 (目次も変更)	<p><u>4-6 子どもの読書活動を推進するための関係機関・団体との連携・協力</u> これまでの連携は、1対1に留まることが多かったため、その一歩先を含めた読書環境をつなげていく必要があります。そのため、市の図書館担当窓口が中心となって、横のつながりを意識した体制を整えていきます。 また、子どもの読書活動推進に大きな役割を果たす学校図書館と市立図書館が連携を密にし、子どもが本好きになるための協力体制を整えていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ☞ さらなる「和泉市子どもの読書活動推進協議会」における連携体制の強化 ☞ 子どもの読書活動に係るボランティア団体同士の連絡会議の開催 ☞ 学校図書館と市立図書館との協力体制づくり
33	18ページ 4-3	<p><u>4-3 啓発活動の強化</u></p>	18ページ 4-7 (目次も変更)	<p><u>4-7 子どもの読書活動に関する普及・啓発</u></p>

NO.	ページ	修正前(素案300621)	ページ	修正後(素案301017)
34	19～21ページ 4-4	<p>4-4 数値目標 【数値目標の表】 現況 目標 2 公立保育園における保護者向け絵本講座の実施回数(単位:回) 3 公立幼稚園における保護者向け絵本講座の実施回数(単位:回) 4 地域における保護者向け絵本講座の実施回数 5 すくすくタイムの参加人数 6 子どもの読書活動に関する出前講座の実施回数 7 市立図書館における中高生向け事業の実施回数 8 子どもへの(仮称)「通帳型読書記録帳」の発行部数 9 市立図書館における幼・保育園児の図書館見学の受入人数 10 市立図書館における小学生の図書館見学の受入人数 11 市立図書館における中学生の職場体験の受入人数 12 図書館を使った調べる学習コンクールの応募者数 13 子どもの読書活動に関する講演会の参加者数 14 子どもの読書活動支援ボランティア数 15 地域で活動している図書館ボランティアが行う読み聞かせ等の実施回数 16 小学生の読書が好きと答えた割合 17 中学生の読書が好きと答えた割合 18 自宅での小学生不読者率(担当部署:読書振興課) 19 自宅での中学生不読者率(担当部署:読書振興課) 20 学校図書館図書標準を達成している小学校の割合 21 学校図書館図書標準を達成している中学校の割合 22 市立図書館における子どもの定例行事の参加者数 23 子ども1人当たりの市立図書館貸出冊数 24 子ども1人当たりの小学校図書館貸出冊数 25 子ども1人当たりの中学校図書館貸出冊数 26 子ども1人当たりの市立図書館蔵書数 27 子ども1人当たりの小学校蔵書数 28 子ども1人当たりの中学校蔵書数 29 子ども(0～18歳)の市立図書館利用者率 30 小学生の市立図書館利用者率 31 中学生の市立図書館利用者率 32 高校生の市立図書館利用者率 33 市立図書館から小学校への団体貸出冊数 34 市立図書館から中学校への団体貸出冊数</p>	19～20ページ 4-8 (目次も変更)	<p>4-8 数値目標 【数値目標の表】 現況(平成29年度) 目標(平成34年度) 2 公立保育園における園児1人当たりの蔵書数(単位:冊) 3 公立幼稚園における園児1人当たりの蔵書数(単位:冊) 4 すくすくタイムの参加人数 5 子どもの読書活動に関する出前講座の実施回数 6 市立図書館における中高生向け事業の実施回数 7 子どもへの(仮称)「通帳型読書記録帳」の発行部数 8 図書館を使った調べる学習コンクールの応募者数 9 自宅での小学6年生不読者率(担当部署:指導室) 10 自宅での中学3年生不読者率(担当部署:指導室) 11 学校図書館図書標準を達成している小学校の割合 12 学校図書館図書標準を達成している中学校の割合 13 市立図書館における子どもの定例行事の参加者数 14 子ども1人当たりの市立図書館貸出冊数 15 子ども1人当たりの小学校図書館貸出冊数 16 子ども1人当たりの中学校図書館貸出冊数 17 子ども1人当たりの市立図書館蔵書数 18 子ども1人当たりの小学校蔵書数 19 子ども1人当たりの中学校蔵書数 20 子どもの市立図書館利用者率 21 小学生の市立図書館利用者率 22 中学生の市立図書館利用者率 23 高校生の市立図書館利用者率 24 市立図書館から小学校への団体貸出冊数 25 市立図書館から中学校への団体貸出冊数</p>